

九州運輸局メールマガジン

平成22年11月18日 第105号（発行日：毎週木曜日）

～九州の明日を拓く運輸と観光～

九州運輸局HPアドレス <http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（11月11日～11月17日掲載分）
 - 各種情報
 - 各種手続き
 - 分野別情報
 - 報道発表
- 2 現場レポート

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（11月11日～11月17日掲載分）

各種情報

《入札・契約情報》

- ・企画競争実施公示（11/12付け3件）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

- ・企画競争結果の公表

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/101116.pdf

各種手続き

《海技試験制度・合格者発表》

- ・海技免状等の国家試験

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

分野別情報

《観光》

- ・観光立国の実現に向けた九州官民協議会（第2回議事概要ほか）

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file09.html>

報道発表

・ 宿泊旅行統計調査 = 九州版 =

～ 平成 22 年第 2 四半期 (4 月 ~ 6 月) ~

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-1111-kankou2.pdf>

2 現場レポート

九州海技学院講習修業式

～ 受講生の一層の活躍を祈念します ~

さる 11 月 15 日、宇城市立九州海技学院において、船舶職員養成訓練第 6 回 4 ~ 5 級海技士研修の修了式が行われ、当支局次長も来賓として出席しました。

同学院は、昭和 31 年 4 月に創設された全国唯一の自治体が経営する国土交通省登録の海技教育機関です。また、同時に海技免状（船舶の運転免許証）などの更新講習機関でもあります。

その建物は、明治三大築港の 1 つとして国の重要文化財に指定されている石積みの港「三角西港」の一角で、眼下に紺碧の海・天草 1 号橋を望める環境にあり、元熊本県宇土郡役所であった南欧風のモダンな洋風建築です。

現在まで 50 年以上にわたり海技士（船舶職員）の育成を行っており、修業生も延べ 1 万人以上を輩出し、全国で船舶職員として活躍しています。

今回の受講生は、航海科・機関科併せて北の秋田県から南は鹿児島県まで全国各地 11 県から集まった 29 名で、9 月 14 日から約 2 ヶ月間の長期講習に参加し、専門的な海技知識の習得に努めました。

修業式では、同学院長（宇城市長）から修業証書の授与の後、来賓の方々から、「全員が国家試験に合格され、意気揚々と家庭や職場にお帰りいただきますよう、また、海技免状取得後は船舶職員として一層活躍されることを期待しています。」との激励の言葉がありました。

今後は、11月16日から17日にかけて筆記試験があり、その後口述試験と続き、同月22日から12月7日まで免許講習が予定されております。

当支局としましても、受講生の今後一層のご活躍を祈念しております。

修業式等の模様については、以下のURLをご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_105_2.pdf

海技免状等に関する情報については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

(熊本運輸支局)

福岡県内の小学校で交通エコロジー教室を開催しました！

九州運輸局では、10月21日に福岡市立笹丘小学校、11月11日に太宰府市立水城小学校、11月15日に北九州市立湯川小学校の福岡県内3つの小学校において「交通エコロジー教室」を開催しました。

この教室は、小学5年生または6年生を対象に、環境問題に詳しい福岡大学の浅野教授に講演をお願いして、平成20年以降毎年開催しているものです。

教室には3校合計で316名の児童の参加があり、まず、九州運輸局の仕事を説明を行い、その後は浅野教授から「バスや電車に乗って地球の温暖化を防ごう」をテーマに、地球温暖化のシミュレーション映像などを使って分かり易くお話ししていただきました。

青い地球が2100年に向かって段々と暑くなり、真っ赤になっていく場面では、「うわ～、死んじゃうよ！」と声があがり、実感がわきにくい地球温暖化問題を身近に感じてもらうことができたようです。

また、地球温暖化問題の基礎的な話として、ひと1人を運ぶのに排出されるCO2はバスや電車よりもマイカーの方が多きことなどの説明があり、バスや電車に乗ることがマイカー利用に比べてより地球に優しいことを理解してもらい、賢くマイカーと公共交通機関を使い分けていこうと呼びかけて終了しました。

この教室での話を聞いて、家族で出かけるときに電車やバスを利用してみようと思っただけの家庭が増えてくれればいいな、と思います。

なお、今月末には運輸局職員による同教室を熊本県内の2校で開催します。

交通エコロジー教室の様様については、以下のURLをご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_105_1.pdf

(交通環境部 環境課)

【編集部より】

編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内等、地域の情報を募集しています。お気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html